



准教授
鈴木 敦
スズキ アツシ

大学院工学研究院 機能の創生部門
大学院工学府 機能発現工学専攻 物質とエネルギーの創生工学コース
理工学部 化学・生命系学科 バイオ教育プログラム
atsuzuki@ynu.ac.jp

生物学
生物科学

細胞生物学

発生生物学
細胞生物学
発生工学
遺伝学
分子生物学

[研究概要]

マウスを用いて生殖細胞の発生に必須遺伝子を同定し、その機能解析を行っています。

[アドバンテージ]

遺伝子改変技術を用いることによって、その遺伝子を欠いたマウスや、逆に、過剰に存在するマウスの表現型を解析できます。

[事例紹介]

組織特異的に発現する遺伝子の制御領域を利用し、その組織に特異的にGFPなどの蛍光蛋白質を発現させることが出来ます。

■ 相談に応じられるテーマ

遺伝子改変動物の作製
遺伝子改変動物の解析
蛋白質-蛋白質結合の網羅的解析

■ 主な所属学会

発生生物学会
分子生物学会

■ 主な論文

『Nanos2 suppresses meiosis and promotes male germ cell differentiation.』[Genes & Development.] 2008/2
『Functional redundancy among Nanos proteins and a distinct role of Nanos2 during male germ cell development.』[Development.] 2007/1
『Nanos2 蛋白質は生殖細胞の雄性化に必須な分子である。Nanos2 は卵と精子の分かれ目に働く蛋白質.』[生物の科学遺伝] 2008/9